

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
議案第1号 垂水市文化財の指定について	境棒踊りを垂水市無形民俗文化財として指定することで、保護し後世へ伝えようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第2号 平成28年度当初予算案についての市長への意見申出について	平成28年度当初予算案の作成について、差し支えない旨回答しようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第3号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について	「垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例」制定の議案を提出することについて、差し支えない旨意見を申し出ようとするものである。	特記事項なし	承認
議案第4号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について	「旧垂水市教育委員会教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例」制定の議案を提出することについて、差し支えない旨意見を申し出ようとするものである。	特記事項なし	承認

平成27年度第 11 回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成28年 2月12日 (金)</p> <p>午後 3時 47分</p> <p>↓</p> <p>午後 5時 04分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> <p>教育長 長濱 重光</p>	<p>教育総務課長 保久上 光昭</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 森山 博之</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成27年度第11回教育委員会定例会を開会した。
議案第2号から第4号の議案3件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成27年度第10回定例会会議録の承認 承認

3 議 事

- 議案第 1 号 垂水市文化財の指定について
- 議案第 2 号 平成28年度当初予算案についての市長への意見申出について
- 議案第 3 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出
について
- 議案第 4 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出
について

4 その他

5 委員報告

6 閉 会

<p>3 議 事</p>	
<p>社会教育課長</p>	<p>議案第 1 号 垂水市文化財の指定について 磨崖仏（史跡）と二川棒踊り（垂水市無形民俗文化財）を文化財として指定することで、保護し後世へ伝えようとするものであることを説明。</p>
<p>委員長</p>	<p>地図も添付してあるが、国道から少し入ったところになるのか。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>国道から養鶏場の敷地内に人が通れるほどの道があり、そこを歩いて行くのが最短の順路である。磨崖仏は、高さ3m、幅2.5mほどの天然石に彫り込まれている。</p>
<p>葛迫委員</p>	<p>建立された年度の記録は、石に彫り込まれているのか。よく残っていたものだ。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>正保4年の銘が彫り込まれている。雨晒し日晒しであれば風化が進んだと思われるが、一時期埋もれていたことがいい保存状態につながったのではないかと思われる。</p>
	<p>議案第 2 号 平成 28 年度当初予算案についての市長への意見申出について （教育総務課） （非公開）</p>
	<p>議案第 3 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について（教育総務課） （非公開）</p>
	<p>議案第 4 号 教育に関する事務について定める議案についての市長への意見申出について（教育総務課） （非公開）</p>
<p>4 その他</p>	<p>なし</p>

5 報 告

委員報告

委員長

教育委員の報告に入る。

委員長

1 牛根小学校国語科研究公開について

1月28日（木）、牛根小学校の国語科研究公開に参加した。読むことを通して子どもたちの思考力や表現力を高めるという研究テーマであった。昔から「読み、書き、算盤」というように、国語科の基礎、基本というようなテーマであり、永遠の課題でもあると改めて思った。現在では学習技術が大変向上し、効果的な学習向上対策がいろいろと研究開発されているが、「学問に王道なし」ということで、「読書百遍、意自ずから通ず」という真理に帰着するのではないかという印象を受けた。もちろん、帰着に至る過程で、その部分部分や各ステップでの教師の有効な学習支援が、学習効果を倍増させると思った。その先生方の工夫、努力が、子どもたちに学習向上のポイントを効果的に気付かせ、あるいは、その解明にまで導かせていくことになり、それこそが指導者の力量ではないかと強く感じた。個々の先生方が力量を付け指導力を高めるために、実のある研究公開であったと思った。

田原委員

1 牛根小学校国語科研究公開について

1月28日（木）、牛根小学校の国語科研究公開に参加したが、読みが日常化されており素晴らしい。低学年で並行読書も取り入れた授業があって、かなり研究されているなと感じた。この研究で、先生方の指導力向上、子どもたちの学力向上につながっていくものと考えている。

2 垂水市PTA会員研修会について

柗原小学校と松ヶ崎小学校の実践発表があったが、小さな学校のPTA活動、専門部活動の大変さを思うことだったが、それを補って余りある地域の方々、特に公民館を中心にした協力と、近隣のPTAと連携した取り組みは素晴らしいと思った。そして、何といても岡本アナウンサーの講演会が素晴らしかった。主婦業、5人の子育てをしながら仕事も完ぺきにやっけて、しかもPTA会長といった役員の活動もされている。忙しい、大変ということを口に出して言わず、ドラマチック、大活躍と自分を励ます言葉を使っているとのことすごだと思う。自分も、同じやるなら楽しく、笑顔で、全力でと考えるようにしようと思われた気がした。

中谷委員

1 柗原小学校の学校応援団活動について

1月18日に中央中学校のスクールバスに乗車、1月22日は中央中学校正門であいさつ運動、1月30日は垂水市PTA会員研修会に参加した。学校応援団ということで、地域の皆さんが気持ちよく応援、見守りをしてくださっている。ひとつ事例紹介したい。今月いっぱい柗原小学校前の歩道橋が工事中となっているため、子どもたちは信号のある横断歩道を横断しているが、この横断歩道は信号が赤になっても車が平気で通って行き、大人でもなかなか渡れないところである。最初は校長先生が1人で見守りをされていたが、今は毎日パトロールを欠かさずに行っていたりも加わ

中谷委員	<p>って、子どもたちが渡っていることを知らせる旗を示しながら見守りをしてくださっている。ありがたいことである。朝の通学で絶対にあってはならない事故から子どもたちを守るために、一所懸命していただいている。これが地域の方だと思う。1月30日の市P連研修会の中でも、地域の皆さんの力があってこそ活動ができるということに感謝しておられた。自分たちが住んでいる地域に学校があるということ、その存在がありがたいということで、地域が力を合わせて生活しているのだと思うことだった。</p>
葛迫委員	<p>1 牛根小学校国語科研究公開について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月28日（木）、牛根小学校の国語科研究公開に参加した。子どもたちが読むこと、読み取ること続けることで学習意欲が高まり、読む力、表現力、思考力、学力の向上につながっていくのではないかとという学習指導方法であった。低学年1、2年生の教室を参観したら、L字型教室を使って授業をしていた。初めて見たL字型教室は、1年生が3人、2年生が1人で、1年生が音読をしていると1人の2年生が黙々と勉強をしていた。音読によって集中力が削がれないかが心配だった。 ・中学年3、4年生は、リーフレット、新聞を作ってみようという授業であった。教材だけで学習するのではなくて、図鑑や文献とかを使って子どもたちが勉強する、高校生や大学生のように進んだ形での授業である。調べた事実と自分の意見というものを明確に示すようにとの指導があったが、小学校中学年には進んだ教育ではないかと思った。このことは、国語科だけでなく、すべての教科につながるのではないのかなと非常にうれしく思い、これを続けていただけたら、目に見えない、成績には表れない力が培われているのではと感じた。
教育長	<p>1 第6垂水丸遭難事故を語る会について</p> <p>2月6日（土）、第6垂水丸遭難事故を語る会が、社会教育課の事業として図書館で開催され、小・中学生10数名を含む総勢55名の参加があった。市外からは遭難を実際に見たという根占方面からの男性も参加され、家族を亡くされた方々も参加されていた。昭和19年2月6日に遭難し、遺族会の報告では539名が亡くなっているとのこと。遭難事故を語る会の趣旨が、風化させずに語り継いで後世に戦争の悲惨さ、そして平和の大事さを伝えていこうというもので、DVD鑑賞をしたり体験談や本の朗読があったりして、いい内容であった。社会教育課では来年度以降も継続することなので、参加していただけたらと思う。</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>1月13日から2月12日までの主な行事等について報告。併せて、3月11日までの行事予定についてお知らせした。</p>
6 閉 会	